

1. JP.07-011798,Y(1995)
-2. JP.08-009254,Y(1996)-

CLAIMS DETAILED DESCRIPTION TECHNICAL
FIELD PRIOR ART EFFECT OF THE
INVENTION TECHNICAL PROBLEM MEANS
OPERATION EXAMPLE DESCRIPTION OF
DRAWINGS DRAWINGS

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any
damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by
computer. So the translation may not reflect the
original precisely.
- 2.*** shows the word which can not be
translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

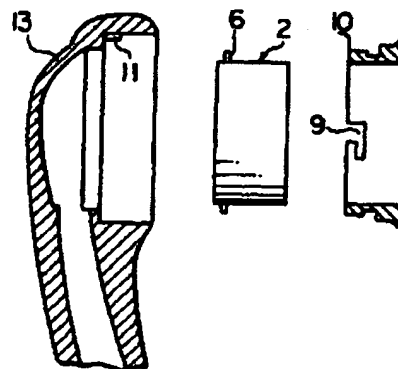
[Utility model registration claim]

[Claim 1] The cartridge which is the hand
shower used in a bath and contained the water
purification filter medium, The nozzle cap which
sprinkles the clarification water which contained
this cartridge in the condition of having engaged
with the side face of a cartridge, and passed the
cartridge in the shape of a shower, The shower
with a water purification function characterized
by having the nozzle cap stowage which
contains this nozzle cap in the condition of
having engaged with the side face of this nozzle
cap in the shower head section, and equipping
the body of a shower with a cartridge free
[attachment and detachment].

[Translation done.]

Drawing selection

Drawing 5 ☒



[Translation done.]

BACK NEXT

MENU SEARCH

HELP



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案公報 (Y 2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平7-11798

(24) (44)公告日 平成7年(1995)3月22日

(51)Int.Cl.⁶ 識別記号 庁内整理番号 F I
B 0 5 B 1/18 1 0 1
A 4 7 K 3/22
C 0 2 F 1/28 G



請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 実願平2-91177
(22)出願日 平成2年(1990)8月30日
(65)公開番号 実開平4-50152
(43)公開日 平成4年(1992)4月28日

審査前置に係属中

(71)出願人 999999999
トータス株式会社
東京都文京区本駒込6丁目1番21号
(72)考案者 高木 茂和
愛知県名古屋市中区大須2丁目1番32号
(72)考案者 秋山 清
神奈川県逗子市沼間5-16-12
(72)考案者 南 雅晴
神奈川県川崎市多摩区西生田3-20-13
(72)考案者 小川 恭弘
東京都板橋区蓮根3-9-17
(74)代理人 弁理士 吉田 研二 (外2名)

審査官 胡田 尚則

(56)参考文献 実開 昭50-41351 (J P, U) 高橋次
実開 昭63-111962 (J P, U) イッ7ス
実開 昭63-111963 (J P, U) イッ7ス

(54)【考案の名称】 浄水機能付きシャワー

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】浴室において使用されるハンドシャワーであって、

浄水濾過剤を収納したカートリッジと、
カートリッジの側面と係合した状態で該カートリッジを
収納し、かつカートリッジを通過した浄化水をシャワー
状に散水するノズルキャップと、
シャワーヘッド部において該ノズルキャップの側面と係
合した状態で該ノズルキャップを収納するノズルキャッ
プ収納部と、
を有し、
カートリッジをシャワー本体に着脱自在に装着したことを
特徴とする浄水機能付きシャワー。

【考案の詳細な説明】

【産業上の利用分野】

2

本考案は、身体の洗浄を目的とした浴用シャワーに関するものである。

【従来の技術】

水道水には、残留塩素、塵埃、鉄錆等が含まれているため、飲料水として使用した場合、体内に吸収されて種々の悪影響が出ることが懸念されている。そこで近年の保健志向の高まりと相俟って、残留塩素等を除去すべき浄水器の開発がすすめられている。

【考案が解決しようとする課題】

10 しかしながら、水道水に含まれる残留塩素等は、飲料水として使用される場合のみならず、浴用として使用される場合にあっては人体に悪影響を及ぼしている点が見過

ごされている。
特に、残留塩素は、有機物と反応して酸化させたり、塩化物を作ったりするので、髪や肌が、塩素に反応して痛

3

みやすく、温水シャワーであればその化学反応は更に促進されることになる。

従って、髪や肌の保護や、アトピー性皮膚炎の罹患者の増加の観点から、浴用として使用される場合にあって、水道水の残留塩素等は除去されなければならないのである。

【課題を解決するための手段】

そこで、本考案は、浄水濾過剤を収納したカートリッジを、シャワー本体に着脱自在に装着した浄水機能付きシャワーを提供するものである。

【作用】

シャワー本体を通過する水道水は、カートリッジに収納された浄水濾過剤によって、そこに含まれる残留塩素、塵埃、鉄錆等が除去されることになる。

【実施例】

以下、本考案の実施例を図面に基づいて説明する。

吸着剤、塩素除去剤、浮遊物除去剤等からなる浄水濾過剤1をカートリッジ2に収納し、その浄水濾過剤1の上下に不織布のフィルター3が挟み込まれている。そしてカートリッジ2の両側には、水孔4を設け、その内側にはポリエステル製のネット5が取付けられている。

このカートリッジ2を、散水孔7を有するノズルキャップ8内に嵌合し、カートリッジ2の係合突起6を、ノズルキャップ8の係合溝9に係合する。そして、ノズルキャップ8をシャワー本体12におけるシャワーヘッド部13に嵌め込み、ノズルキャップ8の係止凸部10を、シャワーヘッド部13の係合凹部11に係合する。かくしてシャワーヘッド部13にカートリッジ2が着脱自在に装着されることになる。

また、前記カートリッジ2を、シャワー本体12の把持部14やホース部15に装着する場合は、それぞれの内径に合

4

った大きさのカートリッジ2を構成して装着される。

なお、カートリッジ2は、一定の通水量の使用によってその浄水能力は低下するので、適宜交換をして新しいカートリッジ2を装着すればよい。

【考案の効果】

本考案による浄水機能付きシャワーを使用すると、水道水の残留塩素、塵埃、鉄錆等が除去されるため、髪や肌の保護に効果があり、特にアトピー性皮膚炎の罹患者にとって、大なる実効性が得られる。

10 また、カートリッジをシャワー本体におけるシャワーヘッド部に装着した浄水機能付きシャワーを、水圧の低い水道水にて使用する場合、良好な散水状態を得られないことがあるが、そうした場合には、シャワー本体における把持部やホース部にカートリッジを装着した浄水機能付きシャワーを使用すれば、良好な散水状態が得られることになる。

なお、第6図は、本考案の使用実績を実験結果を示すグラフであるが、水道水の通水量が2,000l位までの残留塩素濃度は、ほぼ0に近いことがわかる。

20 【図面の簡単な説明】

第1図はシャワー本体の全体図、第2図はカートリッジの側面図、第3図はカートリッジの断面図、第4図はシャワーヘッド部および把持部の側面図、第5図はシャワーヘッド部にカートリッジを装着する状態を示す分解図、第6図は実験結果を示すグラフである。

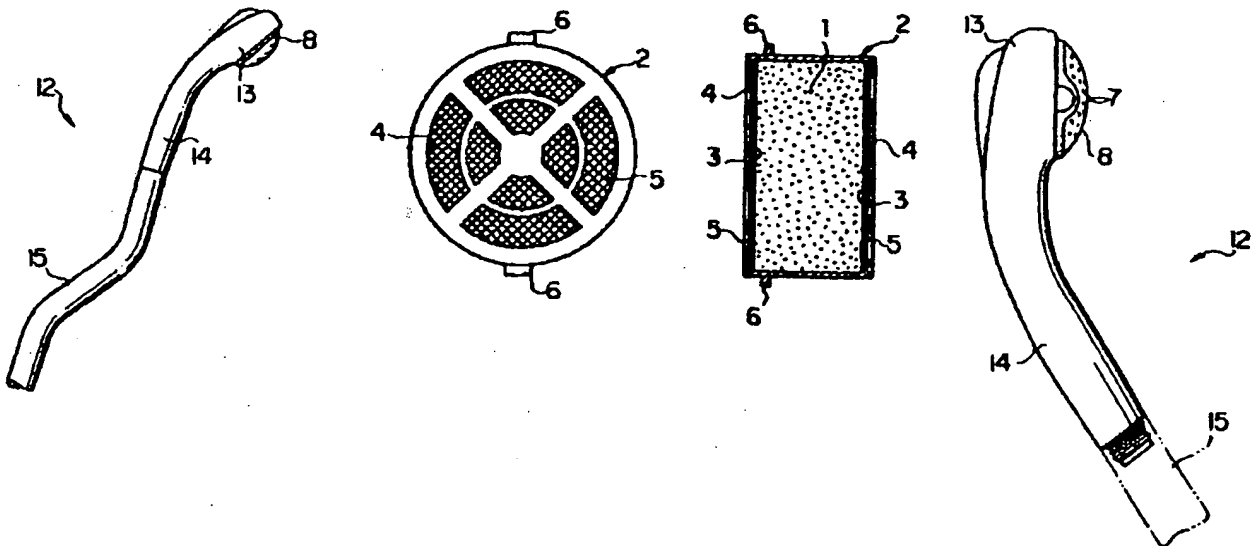
- 1……浄水濾過剤
- 2……カートリッジ
- 12……シャワー本体
- 13……シャワーヘッド部
- 14……把持部
- 15……ホース部

【第1図】

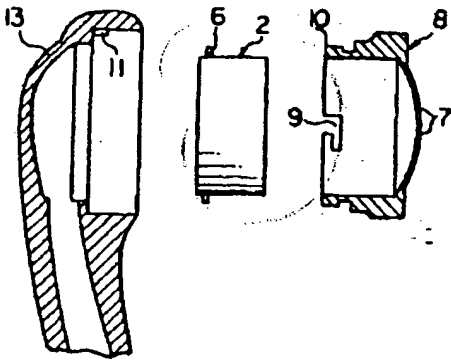
【第2図】

【第3図】

【第4図】



【第5図】



【第6図】

